



2018年10月1日発行
(毎月1日発行)
1984年8月15日第3種郵便物認可
発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739
熊本市中央区新町1-3-8
Tel 096-353-6397(代)



YMCA水泳クラブ ボランティアリーダー まえだ たかし 前田 隆志さん

「もっと速く」

来年のNHK大河ドラマは『いだてん』。二人の主人公のうち金栗かなぐり四三しそうが熊本県出身ということもあり、熊本では関心が高まっています。もう一人は田畑政治たばたまさじ。東京朝日新聞(現在の朝日新聞)で記者をしながら水泳への情熱を選手の育成に注ぎ、「フジヤマのトビウオ」古橋廣之進を育てるなど「水泳ニッポンの父」と呼ばれた人物です。

週3回、仕事が終わると、子どもたちの水泳の指導のためにむさしセンターに向かう社会人リーダーがいます。自衛官で三児の父、前田隆志さんです。指導に対する報酬はありません。どうしてYMCAでリーダーを?との質問に「なぜでしょうね」と照れ笑い。その表情とは裏腹に前田さんが何度も口にした言葉は「もっと速く」。競技者から指導者になった今も、その思いは変わりません。

前田さんが初めてYMCAの門をくぐったのは3歳の頃。病気がちだった前田さんを、母親がながみねファミリーセンターの水泳教室に通わせ始めたのがきっかけでした。以来ずっと、水泳一筋の子ども時代と青年期を過ごすことになります。YMCAの水泳クラブ※に所属しながら、中学校では水泳部でも活動します。日曜を除く月曜から土曜まで、水泳の毎日。中学校の職場体験実習でも、YMCAを実習先に選んでプールに入るという徹底ぶりでした。

すべてが「もっと速く」のためだったと言う前田さん。『なぜそんなに水泳

情熱が、YMCAと子どもたちを支える

を?』と尋ねられても、『速く泳げるようになりたいから』としか答えられないんです。練習はハードでしたよ。辛くてゴーグルを涙でいっぱいにして泳いだこともあります。でも、水泳は個人競技だから頑張った分、怠けた分が結果に表れる。そう自分に言い聞かせて、練習に打ち込んだ子ども時代でした」。

※水泳クラブ／リーダーの推薦を受けた小学生～中学生が所属。熊本県や九州規模の公式大会へ出場する以外にボランティア体験などにも取り組む。

競技者から指導者に導いたもの

そんな前田さんでも、就職を機に一度は水泳から完全に離れました。仕事に慣れるまでは、それだけで精一杯だったのです。

父親になり、YMCAのプールで泳ぐ娘の姿を観覧席で見ていたある日、前田さんはリーダーに声をかけられました。「水泳クラブの指導を手伝ってもらえませんか」。「最初は断ったんですけどね。ベテランリーダーさんがどうしてもって言うので、じゃー一回だけ、と。これがすべての始まりでした。あの時、声をかけてもらえなかったら、今の自分はないと思います」と言葉に力が入ります。

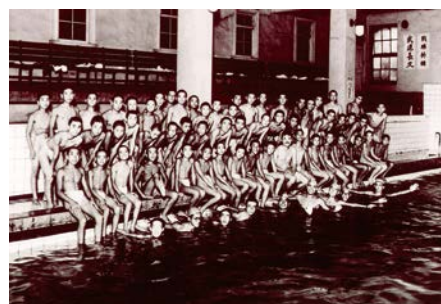
初めて指導者としてプールに入った日の記憶は、今でも鮮明です。「ベテランのリーダーは子どもの泳ぎ方の癖を完璧に覚えていました。個性と可能性に配慮した声かけ、理論に基づいた指導。あの日のプールは、自分が知っているプールとは全く違って見えました」。もう一つ前田さんを惹きつけたのは指導に対するリーダーたちとの共感でした。「尊敬する、あるリーダーは指導への『熱量』がすごい。それでいて、いつも子どもたちが笑顔。自分の指導スキルでは到底かなわない。憧れの存在です」。

指導者たちの熱い思い

昨年、東京YMCAは日本初の室内温水プールを設置して100年を迎えました。冒頭の古橋廣之進ら大正、昭和初期のトップスイマーたちが東京YMCAに集まり、オリンピックを目指してトレーニングを重ねました。同時にそこには熱い思いを持った指導者たちがいました。前田さんの姿から、私たちは時空を超えて日本水泳界の黎明期を支えた先人たちの思いにふれることができるのかもしれません。

最後にリーダーとしての今の思いを語ってもらいました。

「YMCAがなかったら、自分にぽっかり穴があいちゃうでしょうね。生活の一部ですから。子どもたちの大会の様子が気になって、仕事中にふと頭をよぎることもあります。もっと速く泳ぐためにどう指導したらいいか、いつも考えています。あ、『もっと速く』ってまた言っちゃいましたね」。



1917年に完成した東京YMCAの室内温水プール

熊本YMCA 創立70周年記念 アーカイブ 1948～

熊本YMCAは2018年10月、創立70周年を迎えました。これまでの歩みを写真で振り返ります。

1948年
熊本YMCA創立総会・記念講演会



1949年
熊本YMCA簿記学校(後のYMCA学院)を設立



1952年
YMCA阿蘇キャンプ落成式



I n f o r m a t i o n

行こう 見よう 深めよう

10月20日 Saturday

ユースが感動体験を共有 ユースフェスタ

集う
×
学ぶ

春から秋までに、YMCAで様々な体験をしたユース(青少年)たちが、グループに分かれて活動内容を報告。夏休みのキャンプリーダー、国際協力など、様々な分野のユースたちが一堂に会します。また、SDGs(国連が採択した継続可能な開発目標)についての学びも行います。後半はアジアの大衆料理を食べながら交流。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

回 10月20日(土) 16:30～19:00 場 中央センター(中央区新町1-3-8)
因 コスモスキャンプ、ポニーキャンプ(障がい児キャンプ)、国際青少年平和セミナー、あそぼうキャンプ(被災児支援キャンプ)、タイ・ユースワークキャンプ、西日本豪雨災害復興支援ボランティア、世界YMCA大会、国際ユースボランティア等の活動報告
／SDGsの学び
費 500円(ユースは無料) ※アジアの大衆料理の食事付
対 どの年代でも
場 上通センター
Tel 096-352-2344



12月11日 Tuesday

市民クリスマス2018 Migiwaチャリティーコンサート

チャリティー
×
音楽

今年の市民クリスマスは、ゴスペル・シンガーソングライターのMigiwaによるチャリティーコンサート。コンサートの益金は、熊本地震復興支援活動などのために用いられます。

回 12月11日(火) 18:30開場 19:00開演 場 森都心プラザホール
チケット 大人 1,500円 / 学生以下 1,000円 ※全席自由 未就学児無料
催 市民クリスマス2018実行委員会 場 熊本YMCA本部事務局 Tel 096-353-6397
Migiwaプロフィール

クリスチアンの家庭に生まれ、幼少から教会に通い聖歌隊などで音楽に親しむ。

2000年、アメリカで本場のゴスペルを聴き感銘を受け、翌年から音楽活動を開始。自身の不登校や引きこもりの経験を通し生み出された楽曲や透き通る歌声で神様の愛を伝え、多くの人に勇気と希望を与えている。2006年8月にアルバム「蟻と宇宙」をリリース。ゴスペルCCM大賞アーティストオブザイヤー金賞を受賞。2011年、東日本大震災の直後から東北に通い始める。今なお定期的に被災地を訪れ、仮設住宅などでボランティアコンサートを行っている。



10月・11月

楽しみながらチャリティー YMCA祭

チャリティー
×
祭

上通センターのチャリティー市場(7月29日実施)から始まったYMCA祭もいよいよ終盤。たくさんの方々の来場をお待ちしています。益金は、災害復興支援、国際協力活動、青少年育成、地域活動等のために用いられます。

	東部センター 帯山まつり	水前寺幼稚園 わいわい秋まつり	中央センター 前進祭
日 時	10月28日(日) 9:15～15:00 ※食バザーは11:00～	11月10日(土) 11:00～	11月11日(日) 10:30～15:00
会 場	帯西コミュニティセンターグラウンド(東部センター横)、帯西小学校	YMCA水前寺幼稚園(中央区出水3丁目12-1)	中央センター(中央区新町1-3-8)
内 容	食バザー、YMCA学院日本語科スピーチなど	食バザー、むかし遊び、ゲームコーナー、のみの市など	食バザー、ステージ発表、ゲームコーナー、抽選会など
お問合せ先	Tel 096-382-6661	Tel 096-362-4141	Tel 096-353-6391



各YMCA祭の詳細はWebサイトでもご覧いただけます

回日時 場会場 因内容 費参加費 定員 参加条件 持ち物 対象 主催 締切 申込 問合せ その他

1963年

保育園の運営を開始(尾ヶ石保育園)



1965年

青少年センター(現在の中央センター)が完成



1967年

県下初の組織的な少年サッカークラブを発足



1970年

小学生の野外活動クラブが発足



1981年

第1回日韓視覚障がい青少年スポーツ交流を実施



R | E | P | O | R | T

[8月17日⇒ 9月7日]

復興支援

被災児の心のケア あそぼうキャンプ

第7回あそぼうキャンプを8月17日(金)～19日(日)、YMCA阿蘇キャンプを拠点に実施しました。熊本在住の東日本大震災と九州北部豪雨、熊本地震の被災児40名が参加し、乗馬やプール遊びなどを体験。毎年参加している子どもも多く、「今年はリーダーとして子どもたちをサポートしたい」と、転居先の横浜から駆けつけた高校生もいました。

初回からアドバイザーを務めている精神科医の仁木啓介さんは「心のケアを組み込んだキャンプには、多くの専門家の知恵や工夫が編み込まれ、子どもに自信と力、絆を与えます。変化・成長したリピーターの児童は、初参加の子どもたちのペースメーカーになります。自然の脅威に曝された子どもたちが、自然の中で自分を取り戻し、変化していく様子を、我々はじっと見守っています」と話しています。

岡 総主事の
タラン
トン Vol.52

愛の共同体

熊本YMCAは今年の10月10日で創立70周年を迎えます。この70年の年月、熊本YMCAはイエス・キリストの生き方に学び、愛にあふれる生活をする共同体として、多くのボランティアに支えられながら、歴史を育んでまいりました。しかし長い歴史の中では、いきいきとした活動を見失うこともありました。その原因の1つに「つまずき」があります。この「つまずき」の対処法次第では、さらなる苦難を迎えることとなりかねません。

聖書は「つまずきは避けられない」と語っています。弟子たちの中に罪や争いが起こることを神様は知っておられます。教会は聖人君子の集りではなく罪人の群れ、教会がこの世にあり、教会員がこの地上で生活している限り、つまずきは避けられない。その「つまずき」の対処を誤ってしまうと、信仰の成長を停滞させるだけでなく、兄弟たちをキリストから引き離して滅ぼすという重大なこととなってしまいます。愛のない言葉や自分本位の振る舞いには十分に気を付けねばなりません。私たちは、つまずきがあることを前提として、「我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ」という主の祈りを捧げ合うことが必要です。

私たちの日常生活においても、時に赦すことが難しい出来事が起こります。事故、事件、災害等思いもよらない出来事が起こると、「なぜ自分だけが」と思ってしまい、他の人を裁いたり、恨んだり、非難する気持ちが起こります。このような思いを持つことが、他の人や自分自身を傷つけることにつながっていきます。

私たちYMCAはキリストの赦しと恵みの中で活動している団体です。この赦しと恵みの中に生きている者として、互いに赦し合って生きていくことを選択したいと思います。「赦す」ことはお互いが幸せになるための処方箋です。互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会を創るために、互いを尊敬する関係の中で、「愛の共同体」として活動していきたいものです。

t a l a n t o n

国際

東ティモールのユース 熊本で研修

2012年から交流と支援を続けている東ティモールYMCAからアルバとルイスのユース2名が、9月3日(月)～6日(木)、熊本を訪れました。彼らは普段、東ティモールの子どもたちに音楽やサッカーを教えるボランティア活動を行っています。

二人は、熊本YMCAのサッカーや子ども英会話のクラスに参加。また、益城町木山と御船町木倉の仮設団地や熊本市立託麻南小学校を訪問し、国際交流。託麻南小学校では6年生170名と「平和」をテーマに授業を行いました。東ティモールの文化や、日本の占領下にあった歴史を共有し、「平和って何だろう、自分たちにできることは何だろう?」と話し合いました。そして、「互いを認め合い、いろいろな国の方たちと友だちになって、共に平和を創造していきましょう」と、子どもたちにメッセージを送りました。



職員 丸目陽子

災害支援

西日本豪雨災害 ボランティアを派遣

7月に発生した西日本豪雨災害。熊本YMCAは広島YMCAを通して、9月末までに22名を被災地ボランティアに派遣しました。9月3日(月)～7日(金)には、YMCA学院健康スポーツ科1年生と教員など15名が参加。土砂の撤去などに取り組みました。

「思っていた以上に被害が大きく、驚きました。ボランティアをしている中で、現地の皆さんに「ご苦労さま」などの声をかけられたことが、うれしかったです」、「熊本地震の時に広島の方々に助けていただいたので、その恩返しの気持ちで参加しました。熊本も少しずつ復興が進んでいるので、広島も復興が進み、さらに発展していったほしいです」などの感想が寄せられました。支援活動の様子は広島YMCAのFacebookでも報告されています。



1990年

熊本県下初の認可を受けた日本語学校を開設



1994年

第1回タイ・ユースワークキャンプを実施



2003年

水前寺幼稚園の運営を引き継ぎ開園式を実施



2007年

初の指定管理受託(リフレスおおむた)を実施



2016年

第1回熊本YMCA国際チャリティランを開催



熊本YMCA創立70周年

YMCAで
私が
やりたいこと

YMCAに関わる皆さんに、これからYMCAでやりたいことや夢、希望を聞いてみました。



浅野 花菜さん
みなみセンター体操リーダー

YMCAに連なる人たちと笑顔を共有し、YMCAの楽しさをもっと伝えたい！



角本 浩さん
東部運営委員長

YMCAが必要としている人、YMCAを必要としている人、みつめて、つなげていきたいです。



齋藤 義鷹さん
YMCA学院建築科1年生

建築の基礎を楽しみながら学んでいます。熊本に貢献できる建築家になりたいです！



伊藤 ことほさん
むさしセンター
水泳在籍生

たくさん練習して記録を縮めて、たくさんボランティアして人の役に立ちたい！



盧 正義さん
YMCA学院日本語科上級クラス
(中国出身)

日本語だけではなく、ボランティア活動も学びました。これからも続けていきます！



竹内 佳子さん
東部センター
日本語会話ボランティア

母校の感恩奉仕の精神で人との交流を続けられることは71歳の私の生きがいの一つ。祝70周年。



三島 琉偉さん
むさしセンター
体操在籍生

体操を頑張って、将来YMCAで体操のリーダーになる！



白木 尚登さん
水前寺ワイズメンズクラブ
会長

YMCAのサポートクラブとして水前寺幼稚園を応援していきたいと思っています。



山邊 颯大さん
ながみねファミリーセンター
サッカーチーム在籍生

YMCAで文武両道を成し遂げたいです。出会った仲間と一緒に努力していきたいです。



中川 美優さん
みなみセンター
水泳・体操・サザンズスクール在籍生

体操の後ろまわりができるようになりたいです！



山口 富士子さん
ながみねファミリーセンター
ウエルネス会員

水泳を始めて23年目。毎日が充実しています。健康に感謝!!あと20年は泳げますように。



美濃部 星矢さん
野外活動クラブリーダー

多くの子どもたち、リーダーと関わり、たくさんの笑顔が見られるようにしたい！



田畑 可奈恵さん
上通センター
英会話クラス在籍生

週1回のクラスメイトとのレッスンが元気の源です。これからも続けます。THANKS, YMCA!



東 菜保子さん
熊本五福ワイズメンズクラブ
会長

地域全体で園児を見守り、熊本五福幼稚園が地域の拠点となるような活動を目指します。



岩坂 美佑さん
ながみねファミリーセンター
水泳・えいご在籍生

助け合いをしたり、たくさんの人と出会いたいの、ボランティアをやりたいです。



菊川 英里奈さん
黒川保育園保護者・保育士

子育てを楽しみながら、大好きな保育を続けていきたいです！



足達 勇斗さん
あそぼうキャンプ
ユースリーダー

これからも、たくさん子どもたちと楽しいキャンプをしていきたいです！



賀来 結実子さん
ぶどうの木幼稚園
バンピクラス

けんぱんハーモニカがじょうずになるようにがんばります！



岡崎 輝さん
YMCA学院
健康スポーツ科1年生

YMCA学院でトレーナーの資格を取って、生活習慣病で苦しんでいる人を助けたい！



宮本 マリアさん
こどもえいごスクール講師

自分が英語を教えた子どもたちが大きくなった時に、一緒に英語でお話したい！



大江 祥生さん
上通センター高校生のための
英会話・フランス語クラス在籍生

将来やりたい仕事(研究)は外国語が必須なので、それに役立てるため勉強を続けます！



両角 彰則さん
むさし運営委員

YMCAは皆が集まる大きな家。私たち家族もYMCAで絆を深め、成長していきたい。

わたしと聖句



ルーテル学院中学・高等学校
崔大凡

フィリピの信徒への手紙 2章3〜4節

何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにもみられるものです。

利己心からではなく

今年も災害によって、各地域から被災の状況と凄まじい映像が届けられました。自然災害だから仕方ない。しかしそこに人間の責任がまったくないとは限らないようです。

例えば、台風は暖まった海水温から生まれる熱帯低気圧によるものです。温暖化が続く限り、今後さらに強く、もっと長く勢力を保つ台風が発生しやすいという分析もあります。一種のブーメランです。人類によって出される温室ガスを自然と大気が受け、その反応が別の形で人類に返ってくる。残念ですが、現実のようです。

私たちが生きるこの世界の様々な出来事には必ず原因があります。原因あつての結果、まさに自然界のルールです。自然の中での人間の利己的な振る舞いが原因で、命と感情のない大気さえもそれに反応します。ましてそれを受ける相手が敏感な感情を持つ人間なら尚更のこと。確かに、どこかで出てきた怒りや憎しみ、その他の利己的なものが原因で残念な結果を受けるのも私たちの社会、人と人との関係です。

利己心からではなく、自分(たち)以外にも注意を払うこと、そんなに特別な教えでもないように聞こえますが、あらゆる形の愛と平和はここから始まるに違いありません。そして人類へのイエス・キリストの尊い愛も、これの頭れです。

発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8
TEL 096-353-6397(代)
発行人／岡 成也 編集人／因幡 亮治
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2018年度基本聖句

コロサイの信徒への手紙 3章14節

愛を身に着けなさい。
愛は、すべてを完成させるきずなです。